

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。（建築基準法施行令第93条）

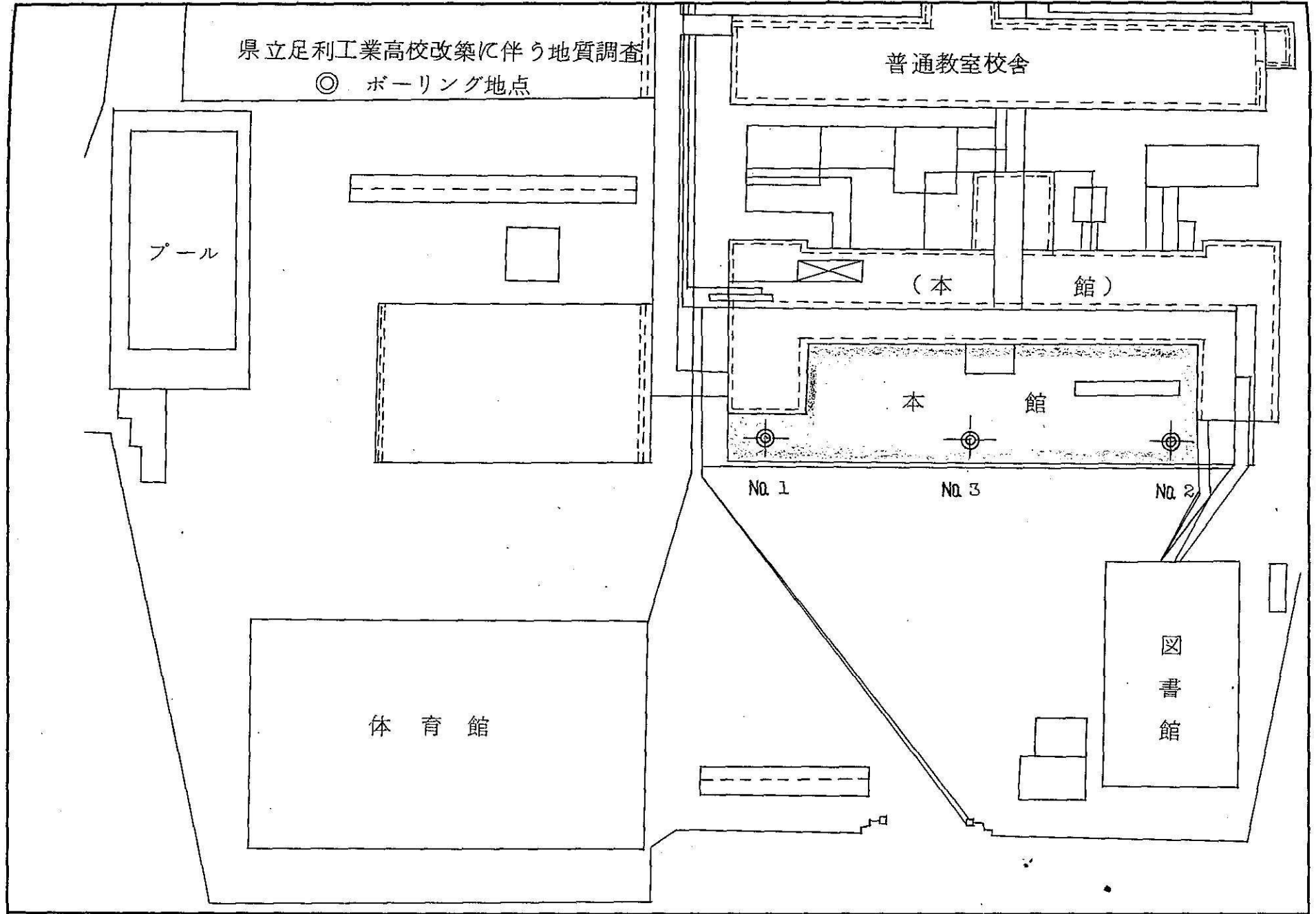
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県県土整備部建築課

県立足利工業高校改築に伴う地質調査

◎ ボーリング地点



ボーリング柱状図

調査名 県立足利工業高校改築に伴う地質 孔番 No. No.1 地盤高 _____ m
 調査場所 調査 足利市西宮町地先 (基準面 現地表面下)
 地 形 _____ 摘要 _____
 調査期間 昭和52年 1月 日 ~ 月 日
 地下(孔内)水位 _____ 調査担当者 _____

標高 地下水位 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土色	性 相対 稠度	備考	(註) 試料		標準貫入試験								
								番号	記号	採取深度 (m)	原位置 試験深度 (m)	打撃回数						
											0	10	20	30	40	50	60	70
0.30	0.30			表土														
0.60	0.30			砂質粘土	茶灰		小礫介在	1	1.2.2	115	5							
1.00	0.70			粘土砂互層			小礫混る。		1.2.2	215	5							
1.85	0.55			礫混り粘土	茶灰		角礫	2	8.12.15	230	35							
2.60	0.55			粘土	茶灰		粘性大		3.15	315	1							
3.05	1.05			砂質粘土	茶灰		腐植物混る	3	20.15	350	35							
3.95	0.40			粗砂	青灰		幾分粘土質	4	5.3.1	415	9							
4.60	0.55			粘土			所々粘土多く混る、小角礫多し。Max80%	5	8.8.10	515	26							
4.65	0.25			粘土					1.1.2	615	4							
5.80	1.15			腐植土質粘土	黒灰色		粘性大	6	1.2.1	715	4							
6.50	0.70			粘土混り砂礫	青灰		小角礫多い max80%内外	7	2.2.3	815	7							
7.60	2.00			粘土	暗褐		粘性中位 有機物混る。	8	14.12.5	915	31							
9.20	0.90			粘土	暗褐			9	2.3.2	1015	7							
10.25	1.05			粘土混り砂礫	青灰色		濃は角礫φ10-20%位多し。30-80%位も混る。粘土質の夾在あり。	10	8.5.12	1115	25							
11.30				粘土混り砂礫	青灰色			11	5.5.10	1215	20							
12.35				砂質土	暗灰色		所々礫混入あり。火山灰質砂を混入し粘性弱。	12	14.13.20	1315	47							
13.40				砂質土	暗灰色			13	17.12.6	1415	35							
14.45	3.50			砂質土	暗灰色			14	4.6.9	1515	19							
15.70	4.35			腐植土質粘土	黒灰色		粘性大	15	3.3.3	1615	9							
16.75	1.75			砂礫	青灰		砂質、粘性弱	16	4.5.9	1715	18							
17.80	0.95			粘土	暗灰			17	5.3.4	1815	12							
18.60	0.80			砂礫	青灰色		20-30%位の角礫多し。80-100%位も介在。	18	1.5.4	2015	10							
19.00				砂礫	青灰色			19	7.5.4	2115	16							
20.00	1.00			粘土	暗褐色		有機物多く混る。粘性大、如くより小角礫混る。	20	12.11.15	2215	38							
21.00				粘土	暗褐色			21	1.1	2315	2							
22.00	1.00			粘土	暗褐色		風化を呈し粘土化を夾在し、採取0%粘土混り砂礫の層を呈す。	22	10.25	2415	35							
23.00				粘土	暗褐色			23	1/8.1/4	2515	2							
24.00	0.75			岩盤	青灰褐色			24	19.12.14	2615	45							
25.00				岩盤	青灰褐色			25	16.20.18	2715	34							
26.00				岩盤	青灰褐色			26	12.17.30	2815	59							
27.00				岩盤	青灰褐色			27	20.17.19	2915	66							
28.00				岩盤	青灰褐色			28		3015								

ボーリング柱状図

調査名 県立足利工業高校改築に伴う地質 孔番 No. No. 2 地盤高 _____ m
 調査場所 調査 足利市西宮町地先 (基準面 現地表面下)
 地 形 _____ 摘 要 _____
 調査期間 昭和52年 1月 日 ~ 月 日
 地下(孔内)水位 _____ 調査担当者 _____

地下水位(m)	深度(m)	層厚(m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料		標準貫入試験									
					色調	相対稠度		番号	記号	採取深度(m)	試験深度(m)	打撃回数							
										0	10	20	30	40	50	60	70		
	0.40	0.20	X	盛土															
	0.25	0.25	/	ローム	茶褐														
				粘土	黒灰		粘性大 2m附近灰褐の 砂質粘土。	1	1.1	1.15	2								
	2.20	1.35		粘土	黒灰			2	20.20	15.5	20								
	2.70	0.50		砂質粘土	青灰			3	1.1	2.15	3								
	3.10	0.40		礫混り粘土	暗灰		腐植土挟み。	3	9.9	3.15	28								
	4.05	1.15		粘土混り砂、礫	青灰		小礫混入多く所々20-30%介在	4	4.4	4.15	11								
	5.65	1.40		粘土	暗褐色		角礫介在 粘性強へ。	5	3.3	5.15	10								
								6	2.2	6.15	6								
								7	2.2	7.15	7								
					暗灰褐色		有機物混る。 粘着性強い。 所により礫の 介在あり。 礫は角礫混入	8	5.4	8.15	14								
								9	3.3	9.15	8								
								10	3.4	10.15	10								
								11	4.2	11.15	9								
					茶褐色			12	1.2	12.15	4								
								13	1.1	13.15	3								
				礫混り粘土				14	2.1	14.15	5								
	10.50	2.25						15	10.20	15.15	50								
							コア採取率0% 風化岩盤、所により粘土質を呈している。 幾分粘性あり。	16	50	16.15	50								
								17	11.12	17.15	40								
	12.20			岩盤	黄褐色			18	13.15	18.15	50								
								19		18.44	29								

